

西田俊英展 不死鳥



「不死鳥」(部分)2022年～ 個人蔵

【展覧会概要】(資料2～3ページ参照)

日本画家・西田俊英(1953-)は、昨年の武蔵野美術大学退任記念展に《不死鳥》を発表して話題を集めました。2022年より1年間、屋久島に滞在して描き始めた本作は現在も制作が続いており、最終的には全長90メートルを越す大作となります。西田が世界自然遺産として知られる屋久島に魅了されたのは、その豊かな原生林に象徴されるように、森林が人間にとってかけがえのない存在で、その貴重な自然、そしてそこに棲む生命の営みに強く共感したからです。その稀有な自然を見つめることで作家は「人間と自然の共生」「生命の循環」をテーマにした壮大な物語を紡ぎだしました。

本展では、代表作とあわせて最新作《不死鳥》をさらに進化したかたちで一挙公開し、西田芸術の現在を紹介します。

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:塩田 积雄(しおた しゃくゆう)、井野 功一(いの こういち) / 広報担当:大津 友美(おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

【開催概要】

1 展覧会名 西田俊英展 不死鳥

2 会期 2024年4月20日〔土〕～6月23日〔日〕

休館日：月曜日

(ただし、4月29日〔月・祝〕、5月6日〔月・振〕は開館。5月7日〔火〕は休館)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

3 会場

茨城県天心記念五浦美術館 展示室A・B・C

4 主催等

主催：茨城県天心記念五浦美術館

企画協力：アート・ベンチャー・オフィス ショウ

5 後援

朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／
読売新聞水戸支局／LuckyFM茨城放送／北茨城市／北茨城市教育委員会

6 入館料

一般840(730)円／満70歳以上420(360)円／高大生630(520)円／小中生320(210)円

※()内は、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方
および付添いの方1名は無料

※土曜日は高校生以下無料

※6月1日〔土〕は満70歳以上の方無料

7 主な出品作品

「不死鳥」2022年～、個人蔵

「寂光」1996年、茨城県近代美術館蔵

「水汲みのマヤ」1999年、郷さくら美術館蔵

「月窓」2014年、個人蔵

「聖花」2021年、個人蔵

8 作家略歴

1953年三重県生まれ。1973年、武蔵野美術大学に入学し、奥村土牛、塩出英雄に師事。1983年、第7回山種美術館賞展で優秀賞受賞。1993年、文化庁芸術家在外研修員として1年間インドに滞在。日本美術院を中心に活躍し、第2回天心記念茨城賞受賞。2012年、第18回MOA岡田茂吉賞絵画部門大賞受賞。

現在、日本芸術院会員、日本美術院同人・理事、武蔵野美術大学教授、広島市立大学名誉教授。(2024年3月現在)



9 本展のみどころ

- (1) 本展のタイトルともなっている《不死鳥》は、完成作が縦2メートル、横90メートルを越す大作です。西田の画業においても過去最大サイズとなる作品で、現在は約50メートルが完成しています。まさに巨大絵巻ともいうべき《不死鳥》を、会場では圧倒的なスケールでご紹介します。
- (2) 会期中、アーティストトークを3度にわたり開催します。作品にかける思いや、制作の舞台裏などを聞ける貴重な機会です。
- (3) 本展は、県内初となる西田の個展です。茨城県では、再興日本美術院展覧会に対して1995年より天心記念茨城賞を提供しています。西田は第2回の受賞者であり、受賞が「大きな励みとなり、その後の画家として歩む上での勇気をいただいた」と語るなど、西田の芸術家としての歩みに茨城県は深く関わっています。本展では、《不死鳥》とあわせ、天心記念茨城賞受賞作の《寂光》をはじめとする過去の代表作も展示します。

10 広報文

- (1) 日本画家・西田俊英^{しゅんえい}(1953-)は、昨年の武蔵野美術大学退任記念展に《不死鳥》を発表して話題を集めました。2022年より1年間、屋久島に滞在して描き始めた本作は現在も制作が続いており、最終的には全長90メートルを越す大作となります。西田が世界自然遺産として知られる屋久島に魅了されたのは、その豊かな原生林に象徴されるように、森林が人間にとってかけがえのない存在で、その貴重な自然、そしてそこに棲む生命の営みに強く共感したからです。その稀有な自然を見つめることで作家は「人間と自然の共生」「生命の循環」をテーマにした壮大な物語を紡ぎだしました。本展では、代表作とあわせて最新作《不死鳥》をさらに進化したかたちで一挙公開し、西田芸術の現在を紹介します。(324字)
- (2) 日本画家・西田俊英^{しゅんえい}は、昨年の武蔵野美術大学退任記念展に《不死鳥》を発表して話題を集めました。2022年より1年間、屋久島に滞在して描き始めた本作は現在も制作が続いており、最終的には全長90メートルを越す大作となります。西田が屋久島に魅了されたのは、森林が人間にとってかけがえのない存在で、その貴重な自然、そしてそこに棲む生命の営みに強く共感したからです。本展では、代表作とあわせて最新作《不死鳥》をさらに進化したかたちで一挙公開し、西田芸術の現在を紹介します。(230字)
- (3) 日本画家・西田俊英^{しゅんえい}は、2022年より1年間、屋久島に滞在して《不死鳥》の制作を進めています。完成すると全長90メートルを越す大作です。本展では、完成した50メートルまでを公開し、西田芸術の現在を紹介します。(103字)

11 オープニングセレモニー・内覧会

- ・開会式：4月19日[金] 午後2時～(受付は午後1時30分から)
- ・会場：茨城県天心記念五浦美術館 展示室A入口
- ・主催者挨拶、テープカット
- ・内覧会：午後2時30分～

12 会期中のイベント

(1)アーティストトーク

西田^{しゅんえい}俊英氏が、《不死鳥》の制作エピソードや作品にかける思いを語ります。

- ・日時 : 4月20日[土] 午前11時～
5月25日[土] 午後1時～
5月26日[日] 午前11時～ (各日約60分)
- ・会場 : 企画展示室 ※要企画展入場券、申込不要

(2)ギャラリートーク

展覧会担当者が展覧会の見どころについて、会場内で解説いたします。

- ・日時 : 5月11日[土]、6月16日[日] 午後1時20分～ (各日約40分)
- ・会場 : 企画展示室 ※要企画展入場券、申込不要

(3)来て・見て・発見！アートツアーfor kids

展示室を巡りながら、作品の前で話し合っ絵の見方を深める活動です。

日本画の材料を使った制作体験や東京美術学校の校服(複製)の試着体験もあります。

- ・日時 : 5月18日[土] 午前10時～
- ・会場 : 展示室、講座室
- ・対象 : 小中学生と保護者5組 ※1組4名まで、要事前申込、先着順
- ・申込方法 : 申込フォーム ※4月19日[金]午前10時から受付開始
ホームページのURL、またはQRコードを読み込み、必要事項を記入してください。

(4)ワークショップ「チケットフォルダーをつくろう」

顔彩と蠟引きの技法を使ってオリジナルのチケットフォルダーをつくります。

- ・日時 : 6月1日[土] 午前10時～、午後1時30分～
- ・会場 : 講座室 ※要企画展入場券、当日先着順、各回20名程度

(5)映画会

4月14日[日] : 「そして父になる」(2013年/121分/カラー/日本)

5月12日[日] : 「西部の男」(1940年/100分/モノクロ/アメリカ)

6月9日[日] : サスペンスの神様 ヒッチコック特集

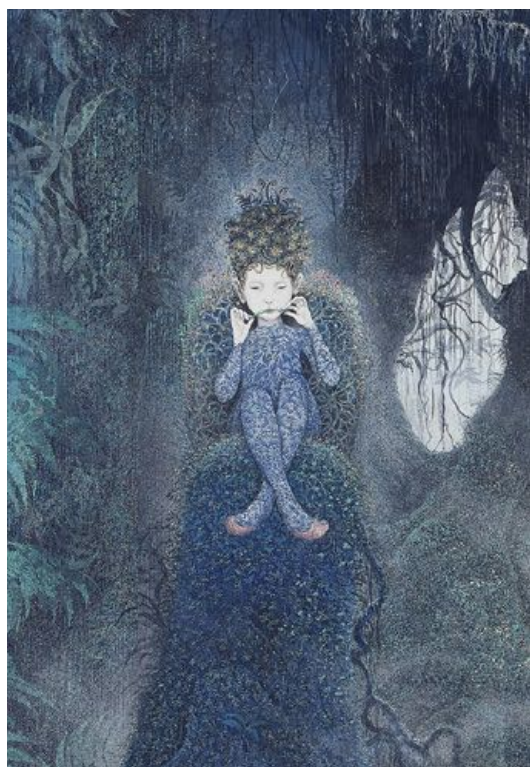
午前の部「バルカン超特急」(1938年/98分/モノクロ/イギリス)

午後の部「断崖」(1941年/100分/モノクロ/アメリカ)

- ・上映時刻 : 午前9時45分～、午後1時30分～
- ・会場 : 講堂
- ・定員 : 各回114名

※座席は全席自由、当日受付先着順

【広報用図版】 ※表紙の画像も提供可能です。



※いづれの作品も
「不死鳥」(部分)2022年～ 個人蔵

【問い合わせ先】

※図版使用に際しての注意

- ・ 展示会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
 - ・ 図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
 - ・ 図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
 - ・ 図版はデータでの提供となります。
- 広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



当館HPへ

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL : 0293-46-5311 FAX : 0293-46-5711

E-mail : kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展示会担当 : 塩田 稔雄、井野 功一 / 広報担当 : 大津 友美

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。